

県女性連だより

発行所

千葉県商工会連合会内
千葉県商工会女性部連合会〒260-0026
千葉市中央区千葉港4-2
千葉県中小企業会館内
TEL 043-242-3361
FAX 043-247-0359

第26号

平成19年3月



(写真提供：匝瑳市八日市場商工会女性部)

「地域の活性化へ」を目的に海匝地区商工会女性部交流会が開催された

海匝地域では初となる商工会女性部のブロック交流大会が、このほど旭市で開催され、二百二十人が出席した。冒頭幹事である匝瑳市八日市場商工会女性部の椎名輝子部長は、「女性の感性を生かし、地域の活性化を図る」とする女性部の目的達成には、まず個々の活性が先決とし、地域は離れていても同じ目的を持つ者が一堂に集まり、言葉を交わして学び、経験することによって、信頼関係を深め、それが連帯と結束につながっていく。また人の集まるところから活性が始まる」とあいさつし、引き続き講師を招いた研修会を開催し、フラダンスやピアダンスなどのアトラクションが披露され、会間に各女性部ごとに活動報告を行い交流を深めた。

県内商工会女性部活動紹介

「一番小さな女性部として」

本塙村商工会女性部
部長 井上 けい子



私達、本塙村商工会女性部は県内で一番小さな女性部です。本塙村といえば、今では白鳥の来る村として皆様もご存じかと思いますが、その白鳥の郷の近くにある特別養護老人ホームに当女性部は昨年、今年と心を込めて手作りしたくす玉やクリスマスリース、ポピーの造花等を贈りました。少人数故に大きな事業は望めませんが、部員一人一人が早くから「コツ」「コツ」と作りあげた作品は、入所されている方たちにも喜ばれ、これからの活動に活躍してもらおうと考えています。



山武市成東商工会女性部
部長 佐瀬 愛美

高齢者慰安会が商工会女性部地域自慢発掘認定事業の認定を受けたのが第十回目でした。今年は第十三回目でした。朝4時から赤飯を炊き、600個のパック詰めをしてお昼に備えました。歌に踊りにと数ヶ月前から練習を重ね、それに費やした時間は会員の団結であり、その力を全て出し切れた時の充実感は私達の誇りでした。しかし、市町村合併により存続する事が困難となりました。最後の幕を閉じる時、山武ブロック長、副ブロック長から花束をいただきました。思ひもよらないことに皆感動しました。

「最後のイベント」

部長 佐瀬 愛美

一宮町商工会女性部
部長 斎藤 としえ

毎月第1月曜日が私達商工会女性部の定例会の日です。結構楽しみの夜でもあり、まじめになれる時であります。総会資料の年間計画案に基づき7名いる各役員が毎月交替で司会を務めます。役の一得一同あきらめながらも個性を出し切ります。もちろん書記が記録し、全員に報告します。

まず始めに10分間班会議が行われ、班長による報告があります。次にその月の行事の確認と2・3ヶ月先の行事について、前年度の反省をにらみながら話し合いをしていきます。最後は各自店の宣伝に熱



るのです。こそ女性部の力となつてい

「頑固に女性部」

部長 斎藤 としえ

南房総市富浦商工会女性部
部長 渡辺 瑛子

いつの間にか「生涯学習課」が自治体に組織化されており先ず私は驚きました。十六年の歴史を刻み安房で始めてのそのイベントはバランスのとれた大きな団体でした。参加者全体の目線が同じ様に配慮され素晴らしいものでした。その一部として女性部は特産品の販売を試みました。オリジナル性の高い品選び、価格の設定、町内の協力店には何度も足を運びました。当日のテント村は快晴、暖か最高の日和でした。が、結果として反省の少し残る有意義な一日でした。



「生涯学習フェスティバルに参加して」

部長 渡辺 �瑛子



木更津市富来田商工会女性部

部長 秋川 敏子

「ブルーベリーの里、 富来田を目指して」

多古町商工会女性部

部長 内堀 和子

「わが町の 女性部活動」

いすみ市夷隅商工会女性部

部長 引田 相三子

プロックで統一して 地域事業を支援

我孫子市商工会女性部

部長 玉田 千代子

「踊りと唄の発表会」 を開催して

私達、富来田商工会女性部は、平成十四年から十五年度に渡り、親会の特産品開発事業のメンバーとして参加し、千葉県内最大の出荷量を誇るブルーベリーを使った特産品を開発しました。女性部員で研究を進め中でのこだわりは、地元産のブルーベリーを使う事と、昔ながらの地元で親しまれている『おやつ』を再現する事でした。現在は、イベント時のみの販売に限定しておりますが、今後の夢は、生産拠点を構え『おもてなしの心』で成長させていきたいと思います。

多古町では町の三大祭りとして六月「あじさいまつり」七月の「祇園祭」十一月の「いきいきフェスタ」が行われています。私たち女性部はその三つの行事に参加協力しています。特に「いきいきフェスタ」で行っているカレー・ライスの販売は大変好評で、毎年昼には完売してしまうほどの人気です。その売上的一部は社会福祉へ寄付させて頂いております。準備が大変ですが、町の活性化のお手伝いということもあります。も積極的に参加してくれています。

その他、部員の更なる資質向上を目指して毎年「講演会」と「研修会」を行っています。また、昨年度からは、部員同士の親睦を深めるため、有志による「華道・書道・料理」のサークル活動をはじめました。近年減少気味だった部員数も役員・部員の協力により九名の新規部員を迎えることができました。

これからも、女性部活動を通して社会との関わりを積極的に持ち、地域の発展の為、更に努力・協力をしたいと思います。

夷隅プロックは、一市五町でしたのが、いすみ市の誕生で単商数が減ります。が、女性部はそれぞれ地域文化を大切にしながら保存していくイベントを皆で協力参加して活動していくことになりました。今回は岬文化を大切にしながら保存していくことになりました。今は岬が行われています。私たち女性部は月の三つの行事に参加協力しています。特に「いきいきフェスタ」で行っているカレー・ライスの販売は大変好評で、毎年昼には完売してしまうほどの人気です。その売上的一部は社会福祉へ寄付させて頂いておりま

す。準備が大変ですが、町の活性化のお手伝いということもあります。も積極的に参加してくれています。

夷隅プロックは、一市五町でしたのが、いすみ市の誕生で単商数が減ります。が、女性部はそれぞれ地域文化を大切にしながら保存していくことになりました。今は岬が行われています。私たち女性部は月の三つの行事に参加協力しています。特に「いきいきフェスタ」で行っているカレー・ライスの販売は大変好評で、毎年昼には完売してしまうほどの人気です。その売上的一部は社会福祉へ寄付させて頂いておりま



夷隅プロックは、一市五町でしたのが、いすみ市の誕生で単商数が減ります。が、女性部はそれぞれ地域文化を大切にしながら保存していくことになりました。今は岬が行われています。私たち女性部は月の三つの行事に参加協力しています。特に「いきいきフェスタ」で行っているカレー・ライスの販売は大変好評で、毎年昼には完売してしまうほどの人気です。その売上的一部は社会福祉へ寄付させて頂いておりま



夷隅プロックは、一市五町でしたのが、いすみ市の誕生で単商数が減ります。が、女性部はそれぞれ地域文化を大切にしながら保存していくことになりました。今は岬が行われています。私たち女性部は月の三つの行事に参加協力しています。特に「いきいきフェスタ」で行っているカレー・ライスの販売は大変好評で、毎年昼には完売してしまうほどの人気です。その売上的一部は社会福祉へ寄付させて頂いておりま

いすみ市大原商工会女性部



部長 田中 春枝

野田市関宿商工会女性部



部長 大塚 せつ子

平成十八年度次の女性部、女性部員がその活動状況等が認められ中小企業庁長官表彰等が贈られました。

表彰

“おめでとうございます”

中小企業庁長官表彰

永野 邦子
(横芝光町横芝商工会女性部)
内堀 和子
(多古町商工会女性部)
伊勢田 照子
(南房総市三芳商工会女性部)
平山隆子
(香取市小見川商工会女性部)

優良女性部

横芝光町横芝商工会女性部
(南房総市三芳商工会女性部)
平山隆子
(香取市小見川商工会女性部)

女性部功労者

田中 寿
(南房総市富山商工会女性部)

関東産業局長表彰

優良女性部
長生村商工会女性部
多古町商工会女性部

全国商工会連合会表彰

優良女性部

長南町商工会女性部
神崎町商工会女性部

女性部功労者

向後 陽子
(旭市商工会女性部)

椎名 輝子
(匝瑳市八日市易商工会女性部)

全国商工会 女性部連合会長表彰

優良女性部

山武市山武商工会女性部
匝瑳市野栄商工会女性部
香取市小見川商工会女性部
鴨川市天津小湊商工会女性部

女性部功労者

- 優良女性部
 - 女性部功労者
 - 関東ブロック商工会 女性部交流研修会
 - 商工会女性部全国大会
- 平成十八年度事業計画概要
- ・ 通常総会・主張発表大会
・ 四十周年記念式典
五月十一～十二日
(千葉市・グリンタワー)
- 七月五日～六日
(神奈川県)
- 関東ブロック商工会 女性部交流研修会
- 十月二十四日～二十五日
(広島県・広島厚生年金会館他)

間に渡り関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。会場は、相撲部屋、花火大会などで有名な両国・江戸東京博物館の大ホールでした。

一都十県で千葉県は十八名の参加、開会の前に何と桜川びん助一行の江戸芸、かつぽれ、奴さん、伊勢音頭など粋でいなせでこつけいな踊りを披露してくれました。

パネルディスカッションは「地域活性化と観光まちづくり」をテーマに六県女性連代表が出場し、我が千葉県は栄町商工会女性部の秋山優子さんが紙芝居を使い夢と希望ドรามキャラスターの話し、観光のブランド化等堂々と発表されました。

講演会では、中村メイコ氏が身近な日々の生活の中の出来事の中から笑いいっぱいの話と特に子供の名前は生まれた月をそのまま・・・。最後にこれからは「夢も仕事も食事も腹八分に」という言葉で締めました。今日一日、内容の充実した大会で終了となりました。